

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
231BZ05	交通人間学ゼミ		人間の観点から交通を研究する	佐古 仁志	2年次通年	4
科目区分	専門	キーワード	交通事故、ヒューマンエラー、旅、観光、経験			
ディプロマポリシーとの対応		3. 誠実な姿勢で、課題を発見し解決できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		心理学・交通心理学				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス				
講義の目的	本ゼミの目的は、交通に関するものごとを人間の視点から研究することにある。具体的には、事故につながる思い違いや確認不足といったヒューマンエラーなどに関する心理学的研究（知覚・認知の研究）と旅が私たちの経験をどのように変えるのかのような人生に関わる研究を通じて論文の作成を行う。					
到達目標	ものごとを理解するための科学的な視点を身につけ、それを旅や観光を含む広い意味での交通に関わるできごとにも活用できるようになることを目指す。具体的には、問題の発見、仮説の形成、検証、仮説の修正・再形成という科学の方法を、様々な場面への応用をつうじて身につける。					
講義内容	前期は論文の書き方の指導および論文をきちんと理解するために交通心理学ならびに旅に関わるテキストを輪読し、情報・資料を収集することで書評の作成を目指す。後期は作成した書評の発表およびそこでの批判を踏まえつつ、さらなる情報・資料収集を行うことで、卒業論文を作成する。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	前期オリエンテーション	前期のテキストの選定ならびに成績評価など授業の説明			
	第2講	論文の書き方について	感想文と論文の違い、論文の書き方等についての説明			
	第3講	論文の検索と情報の収集	論文の検索及び自分の関心のあるテーマの資料の収集の説明			
	第4講	文献輪読と議論(1)	テキストの輪読とレジユメの作成について			
	第5講	文献輪読と議論(2)	テキストの輪読と問題の立て方について			
	第6講	文献輪読と議論(3)	テキストの輪読と質問の仕方について			
	第7講	文献輪読と議論(4)	テキストの輪読と批判の仕方について			
	第8講	文献輪読と議論(5)	テキストの輪読と情報収集について			
	第9講	文献輪読と議論(6)	テキストの輪読と参考文献について			
	第10講	文献輪読と議論(7)	テキストの輪読と引用の仕方について			
	第11講	文献輪読と議論(8)	テキストの輪読とテーマの選定について			
	第12講	書評作成(1)	卒業論文のテーマの決定と書評の書き方の説明(1)			
	第13講	書評作成(2)	書評の書き方の説明(2)と書評の本の選別のための情報収集			
	第14講	書評作成(3)	書評作成のための作業			
第15講	書評作成(4)	卒業論文の進め方と夏休みの課題としての書評作成について				

第16講	後期オリエンテーション	後期の授業ならびに卒業論文の進め方について
第17講	書評発表(1)	自分の書評を発表と他人の書評の前半
第18講	書評発表(2)	自分の書評を発表と他人の書評の前半
第19講	論文紹介前半(1)	論文の収集と紹介とこれまでの復習
第20講	論文紹介前半(2)	論文の収集と紹介と序論について
第21講	論文紹介前半(3)	論文の収集と紹介と結論について
第22講	論文紹介前半(4)	論文の収集と紹介と中間発表の準備
第23講	中間発表(1)	卒業論文の中間発表前半
第24講	中間発表(2)	卒業論文の中間発表後半
第25講	論文紹介後半(5)	中間発表を踏まえた論文の収集と紹介とテーマの確認
第26講	論文紹介後半(6)	中間発表を踏まえた論文の収集と紹介と資料の確認
第27講	論文紹介後半(7)	中間発表を踏まえた論文の収集と紹介と形式の確認
第28講	卒業論文制作(1)	卒業論文の仮提出
第29講	卒業論文制作(2)	仮提出した論文を共同で検討・修正
第30講	卒業論文制作(3)	卒業論文の本提出
指導方法	前期はテキストの一部をまとめ発表するという輪読の形式の授業を中心に、卒業論文のテーマの設定ならびに関連情報収集のための指導を行う。後期は書評や論文の紹介などの発表を中心に、議論・情報収集・論文作成を行う。	
事前学習	発表の準備あるいはテキスト・論文の該当箇所を確認し、議論できるように情報収集など準備をしておくこと(1時間半程度)。	
事後学習	原則、授業終了後、次回授業開始時までにコメントペーパーを提出してもらう。その回の授業の復習ならびに情報集を行い、コメントペーパーを作成すること(1時間半程度)。	
成績評価方法	平常点(コメントペーパー・書評の提出・授業態度) 50% 卒業論文 50%	
課題(試験・レポート)に対する フィードバックの方法	Google Classroom を使用する。	
テキスト	参考文献を中心に、授業内で相談の上決定する。	
参考文献	一川誠(2019)『ヒューマンエラーの心理学』ちくま新書、石田敏郎(2013)『交通事故学』新潮新書、橋本和也(2011)『観光経験の人類学』世界思想社、森貴史(2023)『旅行の世界史』星海新書ほか	
実務家教員による授業	教員 経歴	
特記事項	特になし	